

保存版

庄川平地区

まちづくり計画



庄川平地区の住民自らが地域活動を展開することにより地域課題の解決、目指す将来像の達成、さらに地域の振興を図っていくための指針として、ここに『庄川平地区まちづくり計画』を策定します。

基本理念

- 〈自然〉 絵になる景観を守るまち
- 〈交流〉 世代を超えて人と人とか結びつくまち
- 〈安心〉 みんなの和！心豊かに過ごせるまち

自然環境に恵まれ、絵になるような景観の中で育まれた歴史と文化にあふれるこのまち。そんな郷土の魅力をこのまちに住むみんなで守り、子どもからお年寄りまで世代を超えた交流の場をつくり、人と人のつながりを大切にする事で、誰もが挨拶を交わし、安心して心豊かに過ごせる我がまちを目指したい。

目指す将来像

「庄川平地区をこのようなまちにしたい」という、これから我々が目指す将来像です。この想いをもち続けながら今後のまちづくりに取り組んでいきます。

- ① 豊かな自然や歴史と伝統を受け継いでいけるまちにしたい。
- ② 子どもが地域の中で遊ぶ場があり、愛着を持てるまちにしたい。
- ③ 人と人とか協力しあい、安心して心豊かに暮らせるまちにしたい。
- ④ 誰とでもあいさつを交わし、笑顔があふれるまちにしたい。
- ⑤ 地域や世代を超えて交流できるまちにしたい。
- ⑥ 趣味や学びの場があり、生きがいをもって暮らせるまちにしたい。



地域の課題

庄川平地区がいま抱えている課題です。これらの課題を解決するための取り組みをみんなで行っていきます。

- ① 地域間・世代間で交流する機会がなく、人と人との繋がりが薄れてしまいかねない。
- ② 地域の人がこのまちに住みづらさを感じて市街地や市外へ出ていき、人口が減り続けてしまいかねない。また、空き家も増えてしまいかねない。
- ③ 高齢者世帯が増え、地域でお互いに支え合うことが難しくなってしまいかねない。
- ④ 地域の団体や町内会の役員のなり手が少なく、活動が維持できなくなりかねない。
- ⑤ 地域の自慢である豊かな景観も、手入れをしなければ荒廃してしまいかねない。
- ⑥ 地域の歴史や伝統行事が継承されず、衰退してしまいかねない。
- ⑦ 近年は集中豪雨が多く、災害対策について考えなければ、安心して住むことのできないまちになってしまいかねない。



事業の提案

次にあげる事業は、庄川平地区の特長をさらに伸ばす事業、あるいは地域の課題を解決し目指す将来像に導くための事業としてコミュニティ設立準備会において提案されたものです。

実際に取り組む事業については、今後正式に発足する庄川平地区コミュニティにおいて、この事業提案を参考に検討されていきます。

【自然・環境部会】

✧まち歩きでまちの現状を知る

地域内を実際に歩いてみることで地域の良い所や気になる所を見つける。

✧空き地やF池を花で埋める花いっぱい運動

地域内の空き地などに花植えをする。

✧ゴミ拾い、環境整備

絵になる景観を維持するためにゴミ拾いや環境整備を行う。

【安心安全部会】

✧一・六市 買い物ツアーの定期運行

市から貸与されるコミュニティワゴン車を定期運行する。買い物支援として一・六市のある日に地域内から中央公民館まで往復する。

【交流部会】

✧庄川平文化教室・運動教室

地域内で絵を教えられる人、運動指導のできる人など埋もれた人材を掘り起こし、その人に指導してもらうサークルを開く。

✧バーベキュー、人が集まる縁日など

町内や世代を超えてみんなが集まれる交流イベントを行い横のつながりをつくる。

【その他にあった事業提案】

✧子ども農業体験、✧星空観察会、✧花火大会の観覧、✧9地区対抗運動会、✧グラウンドゴルフ大会、✧朝のあいさつ運動、✧自主防災組織の機材を使った事業、✧学童保育、✧ワゴン車を使った冬期間の小学生送迎

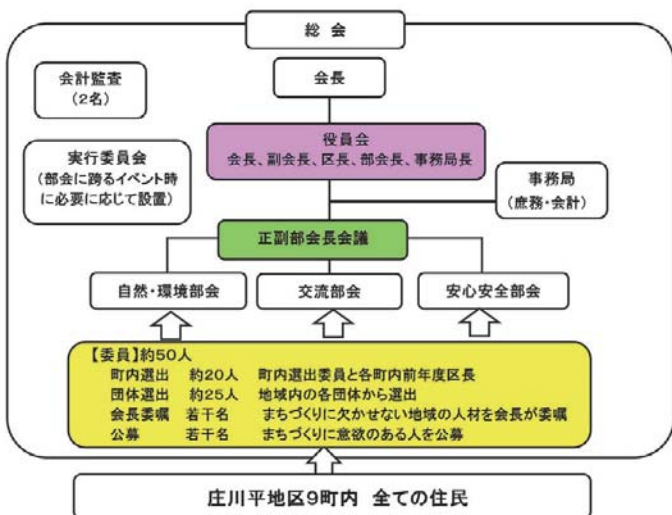
組織体制

庄川平地区コミュニティは、地区が抱える課題を解決し、目指す将来像を実現できるまちづくりを推進していくために、次の大切にしたいポイントを踏まえながら組織づくりを行っていきます。

大切にしたい5つのポイント

- 地域のすべての住民が参加でき、みんなの願いや思いが吸い上げられるオープンな組織。
- 若い世代や女性なども積極的に参加する、縦横のつながりを大切にしたい組織。
- 一部の人だけでなくみんなが仕事を分け合いながらいつまでも活動が継続していく組織。
- 理念を大切にしながら、自主的に動ける組織。
- 地域の人材を発掘し、活動を広められる組織。

〇組織イメージ図



〇任期 2年（ただし当初は半数入れ替えとし、1年委員と2年委員で構成する）

〇部会の編成

町内・団体選出委員を主に構成され、3つの部会に分かれて取組みの計画・実行を行います。

・自然・環境部会

「絵になる景観を守るまち」にするために自然環境の維持・美化に関することを担当します。

・交流部会

「世代を超えて人と人との結びつくまち」にするために地域の交流が活性化する取組みに関する事を担当します。

・安心安全部会

「みんなの和！心豊かに過ごせるまち」の実現にむけ、安心して安全に過ごせる地域づくりに向けた取り組みに関する事を担当します

〇委員選出基準

委員の選出は「町内選出」「団体選出」「会長委嘱」「公募」によって行います

(1) 町内選出 20名

- 〇人数に応じた選出（11名）
 - ・細越2丁目2区…3名
 - ・それ以外の町内…各1名
- 〇各町内の前年度区長（9名）

(2) 団体選出 25名程度

〇次の団体からコミュニティ委員を選出します。
各老人クラブ、消防団第2分団第1部、2部、3部、各子ども会、見附中学校PTA、見附小学校・中学校の先生、民生児童委員、ふれあいパトロール隊、各農家組合、保健委員、いぶき会、梨の木会

〇役員会の構成

総会にかかる議案の審議や承認などコミュニティの意思決定を行う執行機関です。

- 会長…1名
- 副会長…複数名
- 区長…9名
- 各部会の部会長…3名
- 事務局長…1名

〇正副部会長会議

3つの部会の連携や調整を図る場として設置します。3部会の部会長、副部会長で構成されます。

計画策定までの経緯

この「庄川平地区まちづくり計画」は36名による地域の「コミュニティ設立準備会」委員の皆様の半年に渡る熟議により策定されました。

●各町内において地域コミュニティ懇談会を開催

(H26.2.9～3.12)

●第1回コミュニティ設立準備会(H26.4.16)

- ・オリエンテーション
- ・まちづくりの理念について(〇〇なまちにしたい)

●第2回コミュニティ設立準備会「まち歩き」(H26.4.26)

- ・2コースに分かれて庄川平地区のまち歩きを行い、地域の歴史や伝統、現状の再発見
- ・マップを作成し、庄川平地区の宝物と地域課題について考える



●第3回コミュニティ設立準備会(H26.5.14)

- ・まちづくりの基本理念について
- ・地区の現状(好ましい現状、気になる現状)について

●理念検討会(H26.5.28)

- ・各班の代表者(理念検討委員)によりこれまでの話し合いをもとに基本理念を検討

●第4回コミュニティ設立準備会(H26.6.4)

- ・事業の案について

●第5回コミュニティ設立準備会(H26.6.19)

- ・事業の計画について

●第6回コミュニティ設立準備会「先進地視察」

(H26.7.6)

- ・見附市内の「北谷南部みつばコミュニティ」を視察

●第7回コミュニティ設立準備会(H26.7.16)

- ・組織づくりについて



●組織検討会(H26.7.30)

- ・各班の代表者(組織検討委員)により組織図、委員の選出基準等について検討

●第8回コミュニティ設立準備会(H26.8.6)

- ・自然、交流、安心の3部会に分かれ、各部会の事業について

●第9回(最終回)コミュニティ設立準備会(H26.8.27)

- ・「庄川平地区まちづくり計画」策定

●庄川平地区まちづくり計画報告会

(H26.9.9～9.28)

- ・「庄川平地区まちづくり計画」についての報告会を7会場で開催



設立準備会委員名簿(五十音順・敬称略)

【メインアドバイザー】和田一良 【主任ファシリテーター】掛川洋規、丸藤文子

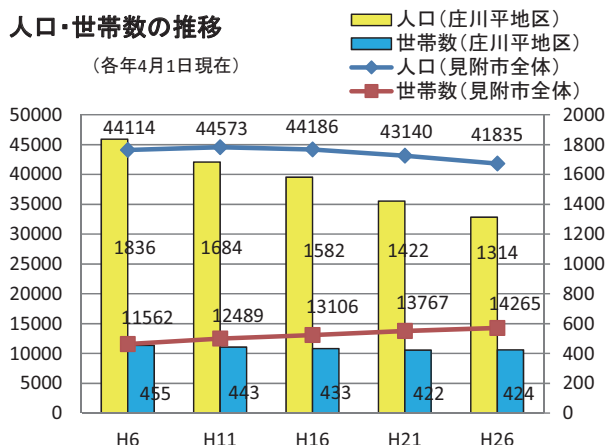
【ファシリテーター】下村靖、田崎洋介、田中宣成、田中満、廣井信彦、明歩谷英樹、若杉リツ、渡辺慶明(以上市民ファシリテーター)、斎藤高史、星野啓輔(以上見附市社会福祉協議会)

【準備会委員】相澤登(細越2丁目1区)、五十嵐作次(庄川町)、井戸正承(細越2丁目2区)、大川戸清一(細越1丁目2区)、大川戸卓子(細越2丁目2区)、小川栄太郎(細越1丁目1区)、菊地大英(町屋町)、久保田とも子(島切窪町)、久保田守(細越1丁目1区)、小宮和一郎(細越1丁目2区)、斎藤正一(町屋町)、桜井利光(細越2丁目2区)、佐藤孝(細越2丁目1区)、佐藤芳博(細越2丁目2区)、佐野佐平治(石地町)、庄川京子(庄川町)、庄川進(庄川町)、庄川文夫(庄川町)、高橋弘(島切窪町)、塚本信治(島切窪町)、西川茂(細越2丁目1区)、長谷川貞介(西山町)、平賀晃(西山町)、広瀬吉春(町屋町)、藤田克次(細越2丁目2区)、古川正巳(見附中学校)、松本理衣(細越2丁目2区)、源川四郎(細越1丁目2区)、皆川保蔵(細越1丁目1区)、源川洋太(石地町)、宮嶋淳一(西山町)、宮嶋利光(見附小学校)、宮嶋玲子(細越1丁目1区)、村越厚司(細越2丁目1区)、目黒佳男(石地町)、矢野達雄(細越1丁目1区)

庄川平地区データ

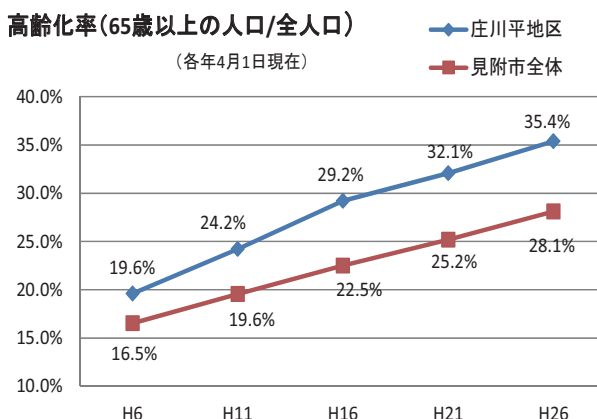
人口・世帯数の推移

(各年4月1日現在)



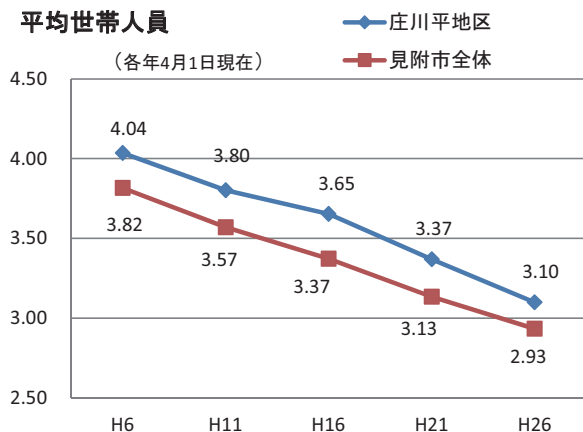
高齢化率(65歳以上の人口/全人口)

(各年4月1日現在)



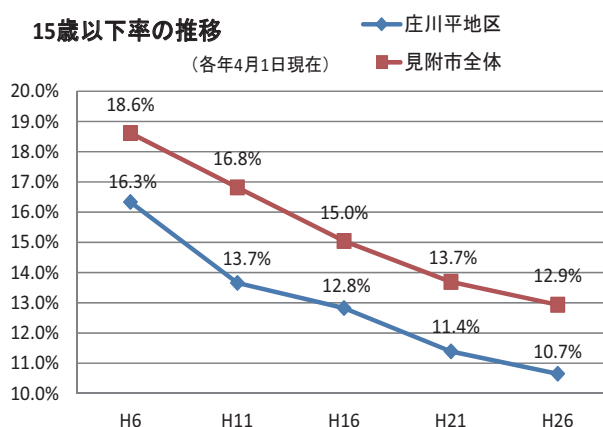
平均世帯人員

(各年4月1日現在)



15歳以下率の推移

(各年4月1日現在)



(住民基本台帳より)

65歳以上のみの世帯数(平成26年4月1日現在)

見附市全体	65歳以上のみの世帯	3,033世帯	4.7世帯あたり1世帯
	1人暮らし世帯	1,595世帯	9.1世帯あたり1世帯
庄川平地区	65歳以上のみの世帯	113世帯	3.8世帯あたり1世帯
	1人暮らし世帯	53世帯	8.0世帯あたり1世帯

(住民基本台帳より)

見附市全体との比較

■人口・世帯数

人口の減少率が市全体より大きく、また世帯数は市全体では増加しているのに庄川平地区では世帯数も減少しています。

■高齢化率・65歳以上のみの世帯数

高齢化率は市全体よりも高く、20年前は市より3ポイントほど高かったものが平成26年の数値では8ポイントほど高くなっており、急激な高齢化を迎えています。

■若年者数の推移

15歳以下の人数の率は市全体よりも常時2.5ポイントほど低く推移しています。



発行元/庄川平地区コミュニティ設立準備会
発行/平成26年11月

表紙写真 斎藤正一さん(町屋町)